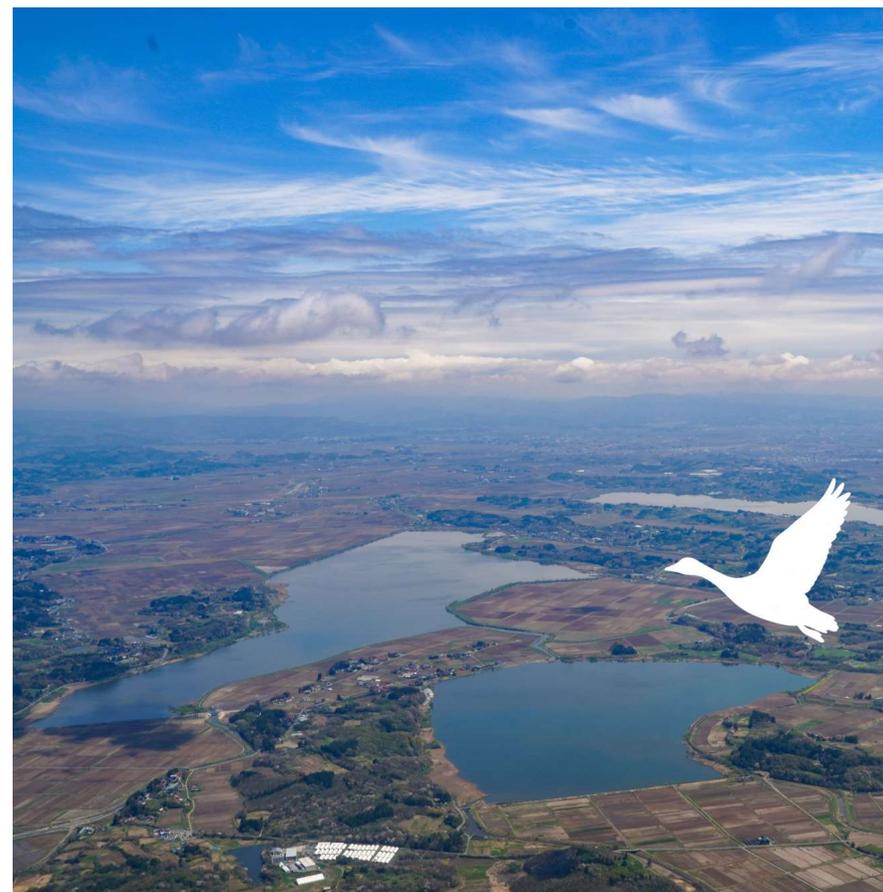




1985-2025 **40**th
Anniversary
of the Ramsar site



Convention
on Wetlands



伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年 記念式典・シンポジウム

日時

令和7年
12月23日(火)
午後1時から午後5時まで

会場

エポカ21
大ホール

【主催】宮城県

【共催】登米市 栗原市 公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団



12:00 < 開場・受付 >

< 開会 >
主催者あいさつ

村井 嘉浩 (宮城県知事)
熊谷 康信 (登米市長)
佐藤 智 (栗原市長)

13:00 来賓あいさつ

東岡 礼治 (環境省東北地方環境事務所長)
佐々木 幸士 (宮城県議会議長)

お祝いのメッセージ

ムソンダ・ムンバ(ラムサール条約事務局長)
代読: 呉地 正行(日本雁を保護する会会長)

記念式典



1985-2025 40th Anniversary of the Ramsar site

13:30

< 感謝状贈呈式 >

豊田合成東日本株式会社
トヨタ自動車東日本株式会社

13:50

< 基調講演 >

樋口 広芳 (東京大学名誉教授)
「世界の自然と自然、人と人をつなぐ渡り鳥」

シンポジウム

14:40

< 事例発表 >

藤本 泰文 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 上席主任研究員)
「湿地保全の40年とその先へ: 伊豆沼・内沼の未来をつくる統合的湖沼管理」
嶋田 哲郎 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 研究室長)
「伊豆沼・内沼から世界へ、スワンププロジェクトー鳥類の渡り追跡公開と市民科学」
宮城県築館高等学校自然科学部
「伊豆沼と私たち～9年間の歩み～」

< パネルディスカッション >

「みんなで守る伊豆沼・内沼 ～未来へつなぐ、地域と自然のちから」
コーディネーター

15:45

西村 修 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 理事長)
パネリスト
横山 潤 (山形大学 理学部 教授)
伊藤 秀雄 (有限会社伊豆沼農産 代表取締役会長)
梶ヶ谷 正美 (トヨタ自動車東日本株式会社PE・環境部グループ長)
浜名 功太郎 (環境省東北地方環境事務所 次長)

16:50

< 閉会あいさつ >

末永 仁一 (宮城県環境生活部長)

宮城県自然環境保全活動功労者表彰 受賞者

活動の功績

2015年(豊田合成東日本株式会社)、2016年(トヨタ自動車東日本株式会社)より、伊豆沼・内沼水生植物園において継続的に環境保全活動を行ってきました。ヨシ刈り、散策路・水路整備、板柵による護岸整備、在来植物の植栽など、多岐にわたる作業を長年にわたり行い、園内の健全な環境づくりに大きく貢献しています。これらの取組は、周辺に生息する希少な在来生物の保全や、安全で学びやすい環境の確保につながり、入園者数や体験学習の受入れ拡大にも大きく寄与しています。両社の活動は、地域における自然体験・環境学習の拠点としての価値向上を高める一助となっていることから、この度、宮城県自然環境保全活動功労者として宮城県知事より感謝状を贈呈いたします。

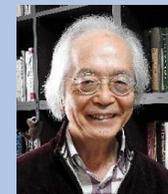


豊田合成東日本株式会社
トヨタ自動車東日本株式会社

基調講演

樋口 広芳 Higuchi Hiroyoshi 東京大学 名誉教授

1948年神奈川県出身。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。農学博士。東京大学農学部助手、米国ミネソタ大学動物学博物館客員研究員、(財)日本野鳥の会・研究センター所長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授等を歴任。現在は東京大学名誉教授、慶應義塾大学訪問教授を務める。専門は鳥類学、保全生物学、生態学。主著:「鳥たちの旅」、「鳥・人・自然」、「鳥ってすごい!」



事例発表

～研究者による湿地保全の歩みと最新の取組、若い世代の活動を紹介し、伊豆沼・内沼の未来を多様な視点から考えます～

藤本 泰文
Fujimoto Yasufumi



宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 上席主任研究員

1975年東京都出身。北里大学水産学部水産学研究科博士後期課程修了。水産学博士。2006年より宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団に勤める。宮城大学非常勤講師、全国ブラックバス防除市民ネットワーク副理事長、流域環境保全ネットワーク副理事長。専門は魚類学、保全生物学。

嶋田 哲郎
Shimada Tetsuo



宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 研究室長

1969年東京都出身。1994年宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団研究員に着任。2006年マガンの越冬戦略と保全をテーマに、岩手大学より博士(農学)号を取得。2020年より現職。専門は鳥類学、保全生物学。著書に「ハクチョウ 水べに生きる」(小峰書店)、「鳥の渡り生態学」など。



宮城県築館高等学校 自然科学部

現在、2年生5名、1年生1名で活動しています。9年前よりバス・バスターズへの参加のほか、伊豆沼・内沼をテーマとした研究活動に取り組み、栗原・登米支部総合文化祭や県生徒理科研究発表会、伊豆沼・内沼研究会などで成果発表を行ってきました。本シンポジウムでは、これまでの私たちの伊豆沼・内沼との関わりについて発表します。

パネルディスカッション

～専門家、地元企業、行政が、それぞれの立場から伊豆沼・内沼の歩みと課題、これからの教育・観光・CSRを通じた伊豆沼・内沼の未来について考えます～

コーディネーター: 西村 修 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 理事長)

横山 潤
Yokoyama Jun



山形大学 理学部 教授

1968年茨城県出身。東京大学大学院理学系研究科博士課程中退。博士(理学)。東北大学理学研究科助手、同大生命科学研究科助手、山形大学理学部准教授を経て、現在は山形大学学術研究院教授(理学部担当)。専門は植物系統進化化学、多様性生物学。

伊藤 秀雄
Ito Hideo



有限会社伊豆沼農産 代表取締役会長

1957年宮城県出身。1988年「農業を食業に変える」というコンセプトで、伊豆沼農産創業。2021年代表取締役会長に就任。経営理念を「人と自然へのやさしさをもとめて」と進化させ、地域の「人」「もの」「環境」に新しい価値を見つけオンラインワンのビジネスモデルを構築中。(公社)日本農業法人協会副会長、(公社)宮城県物産振興協会会長等歴任。

梶ヶ谷 正美
Kajigaya Masami



トヨタ自動車東日本株式会社 PE・環境部 グループ長

1973年神奈川県出身。トヨタ自動車東日本(旧関東自動車工業)入社、旧深浦工場配属。工場の管理業務、車両設計や実験といった開発業務を経験したのち、情報システム部でOA企画を担当。現在は環境グループ長として自然共生活動等を推進。ISO14001環境審査員補などを取得。

浜名 功太郎
Hamana Kotaro



環境省東北地方環境事務所 次長

1977年群馬県出身。千葉大学園芸学部卒業。2004年4月環境省入省。吉野熊野国立公園管理官、林野庁計画課森林計画官、沖繩奄美自然環境事務所国立公園課長、水・大気環境局海域環境管理室総括補佐、自然環境局自然環境整備課総括補佐等を経て、2024年7月より現職。